

事務事業マネジメントシート(令和 5年度実績と令和 6年度計画)

令和 6年 8月26日更新

事務事業名		合志市地域公共交通計画実施事業				☒ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	5	都市基盤の健康			所属部	市長公室	課長名	佐藤 美和
	施策	25	公共交通の充実			所属課	企画課	担当者名	渡邊 光
	施策の柱	68	公共交通の利便性の向上			所属班	企画広報班	(内線)	1256
予算科目		会計一般	款2	項1	目11	事業連番11465	根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法	
終了、開始年度		☐ 5年度で終了 ☐ 5年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 21 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	実証実験の結果、平成24年度から、レターバス、循環バス(2路線)、乗り合いタクシー(3路線)および予約型乗り合いタクシーを本格運行とした。また、平成30年度の3月より東西線を実証実験で運行している。 平成27年度に地域公共交通の活性化及び再生に関する法律に基づき策定した「合志市地域公共交通網形成計画」に基づき①コンパクトシティの実現に向けたまちづくりとの連携②地域全体を見渡した面的な公共交通ネットワークの再構築に寄与する地域公共交通網を構築する。令和2年10月から路線再編を行い、レターバス(3路線)、乗合タクシー(5路線)での運行を行っている。 令和6年度より合志市地域公共交通協議会運営事業(11463)JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業(11467)、パーク&ライド事業(11468)熊本電鉄安全輸送設備等整備協会参画事業(11587)を統合する
【業務の流れ】	コミュニティバス運行业務、レターバスや乗り合いタクシーの再編後の利用状況の分析及び利用促進策などの審議。利用促進策として各地区への出前講座等による説明。コミュニティバス運行進行管理(事業者による実績報告や協議会への経過報告など)や実績に基づく運行委託料支払事務
【主な予算費目】	職員手当(時間外勤務)、需用費、役務費、委託料
【意見や要望】	合志市における地域公共交通グランドビジョンの必要性や、市財政状況を踏まえ、どこまで市が経費を負担して地域公共交通を維持するのか、運行に関する収支率や運賃改定について市議会や地域公共交通協議会から意見をいただいている。

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分	
① 手段(主な活動) 5年度実績(5年度に行った主な活動)(DO) コミュニティ交通(レターバス、乗り合いタクシー)運行委託契約、支払い事務を行った。また、市ホームページや広報紙での周知啓発の他、マイ時刻表の作成・配付などを各地域住民グループへ赴き、利用促進の啓発を行った。令和5年度のコミュニティ交通利用者は合志市地域公共交通網形成計画(H28~R5)期間中最高の乗車人数86,639人となり、令和4年度の77,756人に比べ8,883人増となった。「地域公共交通計画の活性化及び再生に関する法律」に基づきマスタープランとなる合志市地域公共交通計画を策定した。 バスの遅延を解消するために、ダイヤ改正を行い、時刻表(ガイドマップ)を作成した。		6年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 引き続き、コミュニティバスの運行、再編実施計画に基づく分析、バス停環境整備、乗降カウントシステム分析を行う。	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)		(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア コミュニティバス路線の路線数		本	【拡充事業】コミュニティ交通再構築に伴う負担金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
市民		(単位)	
		→ ア 市の人口	人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
円滑に移動できる		(単位)	
		→ ア 「公共交通機関を利用している割合」(市民アンケート調査)	%
*③成果指標設定の理由と 6年度目標値設定の根拠			総トータルコスト
市民アンケート調査の「公共交通機関を利用している割合」			全体計画
			～ 年度
			0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	3年度実績(決算)	4年度実績(決算)	5年度目標(当初予算)	5年度実績(決算)	6年度目標(当初予算)	7年度予定	8年度見込	9年度見込
① 活動指標	ア 本		8	8	8	8	8	8	8	8
② 対象指標	ア 人		63,841	64,453	65,500	64,787	66,391	66,391	66,391	66,391
③ 成果指標	ア %		46.7	47.9	73	53.3	73.5	74	74	74
投資入費量	事業内訳	国庫支出金	千円			5,000				15,000
		都道府県支出金	千円	8,114	8,138	8,356	7,110	8,138	8,000	8,000
		地方債	千円							
		その他	千円	1,757	1,913	1,740	5,718	1,739	1,600	1,600
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計		千円	83,759	88,324	99,054	96,949	115,590	102,240	96,572
		(A)のうち指定経費	千円	93,630	98,375	114,150	109,777	125,467	111,840	106,172
		(A)のうち時間外、特勤	千円	13	14	180	860	1,212	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	3	2	6	6	6	6	6
		延べ業務時間	時間	1,530	1,130	1,200	2,980	1,200	1,200	0
	(B) 人件費計	千円	5,982	4,300	4,780	10,853	4,780	4,780	0	0
トータルコスト(A)+(B)		千円	99,612	102,675	118,930	120,630	130,247	116,620	106,172	156,674

事務事業名	合志市地域公共交通計画実施事業	所属部	市長公室	所属課	企画課
-------	-----------------	-----	------	-----	-----

2 評価の部（CHECK）

*原則は5年度の事後評価、ただし複数年度事業は5年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 5年度目標達成度評価	☐ 達成した 前年度よりコミュニティバス利用者は増加したものの、公共交通機関の利用者がコロナ禍以前の水準まで戻っていないため、目標達成にはいたらなかった。
	② 6年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 コミュニティバスの利用促進策の取り組みを検討・実施し、利便性を向上させることにより目標達成が見込まれる。
有効性評価	③ 成果の向上余地	☒ 向上余地がある⇒【理由】 路線再編後の分析を含め持続可能な公共交通の見直しを行うことにより成果の向上を目指す。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	☒ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☒ 統廃合・連携ができる⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない⇒【理由】 令和6年度より合志市地域公共交通協議会運営事業（11463）JR光の森駅駐輪場維持管理支援事業（11467）、パーク＆ライド事業（11468）熊本電鉄安全輸送設備等整備協会参画事業（11587）を統合する
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	☒ 削減余地がある⇒【理由】 広告収入やバスネーミングライツ等の増収を図ることにより、事業費の削減は可能である。利用促進策の効果等により利用者が増加すれば、運賃収入の増になり運行委託料が削減される。
	⑥ 人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある⇒【理由】 ☒ 削減余地がない⇒【理由】 限られた業務時間（人件費）を有効に利用できるよう、他の事務事業の効率化を図り、公共交通の充実に直結する本事務事業に業務時間を重点的に配分している。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 公平・公正である⇒【理由】 全市民を対象としているため公平である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である⇒【理由】 民間バス事業者が運行しない区域において地域公共交通を維持する者は、行政以外にはいない。

3 評価結果の総括（CHECK）

路線再編後、目標とする数値には達していない。
さらなる周知啓発活動が必要だと考えられる。
今後も利用促進及び利便性向上への取り組みを実施していく。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

</